

<平成29年度 ハローオリンピズム事業>

# オリンピック教室

実施報告書

千葉県 木更津市立木更津第三中学校

Olympic  
Movement



公益財団法人日本オリンピック委員会



現行の学習指導要領は平成21年（2009）4月に公示され、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されました。そこには、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容に、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること」とオリンピックの意義が明示されております。

これを受けて日本オリンピック委員会（JOC）では、平成23年度（2011）から、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエールド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められております。このようなオリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることも期待しております。

「オリンピック教室」の授業は、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。また同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

平成23年に施行された「スポーツ基本法」の前文の一部に「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習する内容は、まさにこの基本法に記された精神や態度等を日常生活の中へ具現化することを後押しするものであると考えています。

平成29年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）  
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 平成29年4月～平成30年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 50校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目  
運動の時間 (50分)



2時限目  
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施  
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

## 1時限目

### 運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

#### 挨拶（5分）

#### 準備体操（10分）

#### 主運動（30分）

#### まとめ（5分）



自己紹介  
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動  
（作戦タイム等）を設け、  
生徒が考える機会を作る



運動の授業のまとめ

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

## 2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、  
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に  
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると  
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

### 座学の時間

#### 挨拶・自己紹介（10分）

#### オリンピックの価値を伝える（10分）

#### グループワーク（20分）

#### まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用  
した自己紹介



オリンピック自身の経験に  
基づく「オリンピックの価値」等  
を伝える



グループ（個人）ワークで  
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます





## 実 施 内 容

- 期 日 : 平成29年6月28日 (水)
- 場 所 : 木更津市立木更津第三中学校
- ク ラ ス : 2年3組 (26名) 2年1組 (26名)
- オリンピアン : 荻原 次晴 先生 (スキー・ノルディック複合)
- 授業のながれ: 運動の時間 (1時限、3時限)

### 1. 自己紹介～授業の目的確認



・出場した長野大会の写真を見せながら、荻原先生から自己紹介し、スキー競技(ノルディック複合)について説明。運動の時間は、皆と一緒にジャンパーになろうと話し、準備体操に移る。

### 2. 準備体操



### 3. 主運動



・2班に分かれて8の字跳び(90秒×2回)を実施。引っ掛かっても連続して数えることとし、90秒間で跳んだ回数を競う。1班ずつ挑戦し、もう一方の班は声をかける等応援する。

・荻原先生から、落ち着いて跳ぶこと、縄を回す人は跳ぶ人が跳びやすいように一生懸命縄を回すことをアドバイス。2回の合計回数を発表し拍手で称える。

### 4. まとめ



・オリンピックバリューについて簡単に紹介し、次の座学の時間ではオリンピックが大切にしている3つの価値について話す予告し、一生懸命取り組んだ自分とチームの仲間を拍手で称え、お互い握手をして授業終了。







# 実 施 内 容

## ■ 授業のながれ： 座学の時間（2時限、4時限）

### 1. 自己紹介と授業の目的を確認



・オリンピックバリューについて知り、皆にも考えてもらいたいと授業の目的を確認。オリンピックに出場した時のエピソードや双子の兄・健司氏について紹介。オリンピックがもつ世界に伝えたい大切な考え方としてオリンピックバリューを紹介し、パネルを用いながらそれぞれの言葉の意味を説明。

### 2. オリンピックの価値を伝える



### 3. グループワーク



・日常生活の中で感じたオリンピックバリューを考える。  
・試合に勝つ、努力したことが成果につながった(エクセレンス)、皆で協力した、声を掛け合った(フレンドシップ)、フェアプレーで戦う、両親に対する、自分にはできないことができる人を尊敬する(リスペクト)等の意見が挙げられた。



### 4. まとめ



・オリンピックシンボルを示しながら、順位はつが、本来の目的は世界の人々と手をつなぎ仲間になろうという理念が込められており、3つのオリンピックバリューも同じことを表していると説明。  
・東京2020大会の前に平昌大会が開催されるので、是非応援してほしい。そしてオリンピックを見ながら、今日学んだオリンピックバリューについて考えてほしいと伝え、授業終了。







## 実施内容

- 期 日 : 平成29年6月28日 (水)
- 場 所 : 木更津市立木更津第三中学校
- ク ラ ス : 2年2組 (26名)
- オリンピアン : 松本 弥生 先生 (水泳・競泳)
- 授業のながれ : 運動の時間 (5時限)

### 1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・松本先生から自己紹介をした後、今日は2時間の授業を通して「オリンピックとは何か」を知ってもらいたい、と授業の目的を確認。
- ・3つのオリンピックバリューの意味を簡単に説明し、バリューを意識しながら授業に取り組んでほしいと伝え、準備体操に移る。

### 2. 準備体操



### 3. 主運動



- ・2班に分かれて8の字跳び(90秒×3回)を実施。90秒間で跳んだ回数を競い、引っ掛かったら最初から数え直す、1人1回は必ず跳ぶこととした。
- ・各回終了後、工夫した点、改善点の発表。

### 4. まとめ



- ・松本先生より皆に楽しんで取り組めたか、ベストを尽くせたかを確認し、勝敗に関係なく「がんばったね」「おめでとう」と互いに声をかけ合うことの大切さを伝え、次の座学の時間ではさらにオリンピックについて学ぼうと予告して、授業終了。





# 実 施 内 容

## ■ 授業のながれ： 座学の時間（6時限）

### 1. 自己紹介と授業の目的を確認



・映像を見せながら自己紹介をした後、松本先生がオリンピックを目指すようになってから出場するまでの経験話をするので、皆にも自分の生活の中でバリューを見つけてほしいと授業の目的を確認。自身の経験と3つのオリンピックバリューをつなげながら、パネルと写真を用いて説明。

### 2. オリンピックの価値を伝える



### 3. グループワーク



・日常生活をより良くするためのオリンピックバリューを考えよう。  
・部活の大会でベストを尽くす、日々の積み重ね、目標に向かって努力する(エクセレンス)、仲間と協力する、意見交換をする(フレンドシップ)、周りの人に感謝する、お互いに称え合う、声掛けをする(リスペクト)等の意見が挙げられた。

### 4. まとめ



・松本先生より3つのオリンピックバリューが伝わったかを確認。東京2020大会では、千葉県でも競技が行われるので、出場するだけでなく、応援する等様々な方法で関わってほしいと伝える。皆の協力があり、楽しく授業を行うことができたこと伝え、授業終了。





■ 集合写真

2年1組



2年2組







■ 集 合 写 真

2年3組



■ 記 念 品 贈 呈

2年1組



2年2組



2年3組



■ 証 明 書 贈 呈

